

2020年度 評価結果（専門機関評価）

No.	団体名	評価対象 事業年度	事業名	評価結果	評価者
1	<a href="#">(一財)運輸総合研究所</a>	2017～2018	モバイル・ビックデータの運輸部門における国内実証とASEAN諸国展開調査	A	インタラクティブ・アソシエイツ
2	<a href="#">(一社)日本船用工業会</a>	2017～2018	ゲートラダーを使用した省エネ推進システムの技術開発	A	インタラクティブ・アソシエイツ
3	<a href="#">(一社)全国コミュニティ財団協会</a>	2016～2018	社会的投資時代の新水準に合致したコミュニティ財団セクターの機能強化事業	B	公共価値創造研究所
4	<a href="#">(一社)日本食べる通信リーグ</a>	2015～2017	「食べる通信」加盟団体の育成強化およびプラットフォームの構築	C	公共価値創造研究所
5	<a href="#">(認特)maggie's tokyo</a>	2016～2018	がん患者等の自己決定を促す相談支援プログラムの啓発	A	公共価値創造研究所
6	<a href="#">(福)フラット</a>	2017	医療的ケアに対応した地域連携ハブ拠点の整備	A	(学)日本社会事業大学教授 大島 巖

<p>■ 評価結果</p> <p>レベルS：秀逸である                  レベルA：優良である                  レベルB：標準的である                  レベルC：改善すべき問題がある                  レベルD：劣っている</p>	<p>(状態)</p> <p>目標を上回った上に、予期せぬ有効な副産物があった。                  目標を上回った。(もしくは)                  目標通りだったが、予期せぬ有効な副産物があった。                  目標通りだった。                  目標を下回ったが、予期せぬ有効な副産物があった。                  目標を下回った。</p>
---	--